





発 行

ムーディー・インターナショナル・ サーティフィケーション株式会社 大阪事務所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル13 F Tel:06-6150-0571 Fax:06-6150-0575

◇ MIC情報通信のバックナンバーは弊社ホームページ (http://www.moodygroup.co.jp)でご覧頂けます。

## CONTENTS

- 1 士気向上
- 2 特集
- ☆ ISO14001を元気にする (2)
- 4 MIC=3-X
  - ●MICのお客様3団体、GAP普及大賞受賞
  - ●神崎建設工業様、稲盛経営者賞受賞
  - ●ISO27001改訂情報
  - ●Q&A
- 審査の現場から
  - ●お客様紹介 (中国興業株式会社)
  - ●連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
- (音) 連載よみもの
  - ●MICリレーエッセイ「私の出張生活」(審査員 川島 久)
  - ●環境よみもの 「環境とISO14001」
- 7 お客様からのお便り
  - ●「私が管理責任者ですか?」 (株式会社大興設備開発)
  - ●「人に優しく、環境に優しく」 (株式会社ヤマト)
- (音) 研修コースのご案内
  - ●ちょっといっぷく
  - ●コースのご紹介/受講生からのお便り

## 士気向上

営業部長 中島 和彦

皆様、日頃はMoodyへ審査のご用命、 ご支援を頂き誠に有難うございます。

早いもので2013年も残り2か月と少しとなりました。今年Moodyでは、昨年発行された新規格ISO39001:2012(道路交通安全マネジメントシステム)の認証サービスを開始しましたし、ISO27001の規格改訂、ISO14001、ISO9001の委員会原案が出るなど、マネジメントシステム規格の共通化に伴う動きが活発化しております。



共通化規格の5章に「リーダーシップ」の項目があり、トップマネジメントに強力なリーダーシップを求めています。トップマネジメントがリーダーシップを発揮し、スタッフが目的や目標達成に向けて活動する訳ですが、どんなに有効なマネジメントシステムがあっても、その中で活動するスタッフの士気が高くなければ本当の意味で有効とは言えないのかも知れません。

士気は人から言われて上がるものではなく、自身で上げようと思っても 簡単に上がるものではありません。一例ですが、普段の何気ない挨拶、 交わす言葉によって個人→部署→組織全体の一体感が生まれます。そし て士気の高い人が増えれば自然に組織全体の士気向上に繋がるのでは ないでしょうか?

Moodyには明確なVision&Missionがあります。私達Moodyのスタッフは、共に働く(戦う)意識を持ち、士気を高め、Moodyを支えて頂いている全ての皆様に満足を提供し、名実ともに審査機関の頂点を目指します。

今後共宜しくお願い致します。

# MOODY INTERITY WWW. moodygroup. co. [p] RTIFICATION



~システム活性化で組織力アップを~

## ISО14001を元気にする(2)

MIC環境主任審查員

郷古 官昭

前号ではISO14001の活動が何故マンネリ化するのかを考え、その原因として3項目を提示しました。

- (1) パフォーマンスすなわち活動の成果が上がらないこと
- (2) 取り組むテーマの選択肢が少ないこと
- (3) リスク管理が不十分なため重要な経営ツールとして認識されないこと

これに対して(1)の対策については前号で既に述べているので、今回は(2)、(3)の対策について述べます。

#### テーマの選択肢を拡げるために

#### ① 環境側面の特定にバリューチェーン調査を導入する

目標設定や維持管理、緊急事態への対応として取り込むテーマは「著しい環境側面」から選択されるので、環境側面特定の範囲を広めることが先決です。規格は活動のみならず製品及びサービスに関する側面、直接影響を与える側面のみならず、間接的に影響を及ぼしうる側面についても特定することを求めています。それらについては前号で詳しく述べていますので、ここでは付表1及び付表2に例を示すに留めます。

間接的に「影響を及ぼしうる側面」とは通常、前工程(供給者)と後工程(納品先)で生ずる環境側面を言いますが、トレーサビリティーとコミュニケーションシステムが確立していれば原材料の採取から消費者にいたるチェーンが繋がります。このような供給と受取りの繋がりを一般にサプライチェーンと呼んでいましたが、最近はバリューチェーンと呼び、サプライチェーンは下流側に限定して使用することが多いようです。バリューチェーンを活用して各段階の環境側面に影響を及ぼすことが出来ますので取り組むテーマを拡げることが出来ます。

#### 付表1

#### 製品の環境側面

・省エネ製品 製品使用時のエネルギー消費が少ない

・省資源製品 製品使用時の資源の削減

(ex 節水型洗濯機)

・長寿命化 耐久性向上で資源の浪費を防ぐ

・詰替え可能 回収再利用のシステム

・リサイクル可能 リサイクルシステムあり、単一素材・解体容易 解体が容易になり分別再使用を促進・分解可能 生分解・光分解性で環境同化

環境に放出する有害物質不使用

・やさしい物理属性 形、大きさ、色、感触

・人、生態に無害

前号ではチェーンの末端で重大な自然破壊が起きている例として「紛争鉱物」と「違法木材」を示しましたが、それを知らずに使用していると自然破壊に加担していると見做されます。バリューチェーン調査を実施することでこのような事態を回避することが可能であり、バリューチェーン管理は重要なリスク管理の手段となります。

#### ② 著しい環境側面の決定はロジックゲート法で

特定した環境側面の中から重要な環境側面を決定し、「著しい環境側面」として組織内で周知します。それらは、目的・目標に取り込まれ、維持管理のために監視され、緊急事態発生時に対応するよう準備される等、マネジメントシステムを維持するうえで考慮されます。従って「著しい環境側面」とは「重要考慮事項」と再定義してもよく、件数も数十件に及ぶでしょう。

評価点によるリスクアセスメントだけで重要度を評価している 組織が多いように思いますが、リスクアセスメントで評価できる のは大気、水質、騒音、廃棄物など公害型の排出物が多い 事業所であって、資源の有効利用や有害物管理、環境配慮 製品、バリューチェーンの環境行動の管理に重点を置いている事業所にとっては、リスクアセスメントだけの評価では甚だ

#### 付表2

#### 影響を及ぼしうる環境側面

•環境配慮製品 前項

・包装材料 軽量化、再使用・再生容易 ・通い容器 ワンウェイ容器⇒通い容器

・モーダルシフト トラック輸送⇒船舶、鉄道

・大口輸送 荷主間協調・有害物不含原材料 グリーン調達

・適正サイズの材料 打ち抜きロス最小化(プレス部品)

危険です。様々な判断基準で重要性を評価するためには 「ロジックゲート法」が良いと思われます。

この方法は様々な管理要素でゲートを作り、「検問」に 引っかかる事項を拾い上げる方法です。(付図1参照) ゲートに設定される「検問」は組織の性質や方針に合わせ て決定します。たとえば以下のような事項です。

- 適用する法規制があるか
- 事業の方針に関係があるか
- 過去に事故・クレームがあるか
- -利害関係者の関心事か
- -二酸化炭素の累積排出量が多いか
- -環境影響が大きいか
- 代替者のいない供給者か
- 有害物を含むか

#### リスク管理を強化する

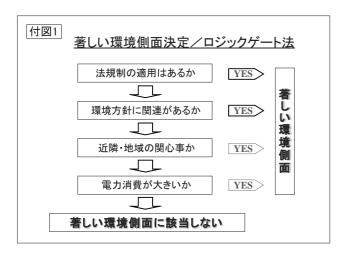
まずはISO14001全体が環境汚染リスクに関する管理の 指針であることを認識する必要があります。したがって規格 の意図を理解して確実に実行することが第一です。規格 が取り上げているリスクについて説明します。

#### ①法規制が順守されないリスク

法規制の制定、改正、廃止を確実に把握する手順を確立 することが重要です。手順は実行可能であること、難解な 官報や六法に頼らず、業界情報を確実に捉まえる仕組み やインターネット検索の手順を確立することが重要です。

#### ②環境側面の管理、有害物流出

有害物の流出リスクについては、設備点検、4M(人、設備機械、方法、原材料)変更管理等の日常点検が重要であることは当然です。万一漏洩した場合の処置は、その現場の状況に合わせた具体的な対策手順を確立しておくことが重要です。



原材料についてはバリューチェーンの環境行動を各種環境規範・行動原則への参加や第三者認証の取得、CSR報告書の発行等で評価し、必要なら二者監査を行います。特に鉱物資源、木材資源、生物資源についてはどこから採取したものか明確にする必要があります。問題があればリスク回避処置を取る必要があります。

#### ③天災事変で管理システムが機能しなくなるリスク

火災、地震、津波、洪水、台風、停電、テロ等への対応 手順を周辺状況に応じて作成しましょう。作成に当って は、二次災害の防止、従業員の安否確認、ライフラインの 確保、原材料・部品供給者の多重化、業務再開のシナリ オ、災害地域での役割等を決めておくべきでしょう。

#### ④外部要因により方針や目標が達成できなくなるリスク

これについてはマネジメントレビューのインプットとして 僅かに顔を出しているだけですが、最近の為替や原油価格 の変動による影響を考慮すると、計画段階で対応策を策定 しておくことが望ましいと考えます。

#### 最後に

活動が沈滞しているISO14001を元気にするためには、第一に高いパフォーマンス出力をめざして、『紙・ゴミ・電気』から脱却することであり、そのためには製品(或いは成果物)の側面や間接的に影響を与えられる側面に取り組むことであることを述べました。第二には、ISO14001が有するリスク管理機能を強化して、リスク管理をしっかり行うことです。

前者は企業に新たな開発活動や提案活動を促し、後者は グローバル時代の企業の存続を確たるものにするでしょう。 いずれにしても企業がグローバル時代に生き残る経営 ツールとして不可欠のものとなるでしょう。

また、マネジメントシステムの運用手法として、著しい環境側面の決定にロジックゲート法を、源流管理にはバリューチェーン管理を紹介しました。特に後者はグローバル社会で求められる新しい管理法ですので、ご検討ください。

筆者紹介 -

郷古 宣昭 (ごうこ のぶあき)

MIC環境主任審査員。

三菱化学株式会社を経てMICへ。化学、プラスチック専門。 ISO9001/ISO14001/OHSAS18001主任審査員、ISO14001/ OHSAS18001審査員コース・内部監査員コース主任講師。



## MIOのお客様3団体。GAP普及大賞受賞

食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられるJGAP (Japan Good Agricultural Practice)は、第三者認証として農業分野で注目を集めており、MICでは2007年よりJGAP審査・認証機関第1号として多くのお客様の認証のお手伝いをさせて頂いています。

日本GAP協会では、1年間で最もGAPの普及に貢献した取り組みに対して表彰を行っており、第3回となる2013年GAP普及大賞が次の3つの事例に決まりました。教育機関による普及が評価された、宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター木花

フィールド(宮崎)の「GAP普及に向けた教育プログラムの開発」、 農業生産者による普及として、有限会社かさい農産(岩手)の 「GAP実践の深化と新規就農支援」、生産者連携による普及と して、JA東予園芸(愛媛)とゼスプリゴールド部会の「産地形成に おけるGAP利用のさきがけ」。宮崎大学農学部様、かさい農産様、 JA東予園芸様は、MICでJGAPを認証取得頂いており、今後も 安心・安全な農産物の生産管理に向けて更なる活動が期待され ます。GAP普及大賞の詳細については日本GAP協会のHPをご覧 ください。(http://jgap.jp/)



## 神崎建設工業様、稲盛経営者賞受賞

MICでISO9001、ISO14001を取得頂いているお客様、神崎建設工業株式会社(宮崎市、神崎義世社長)様が、京セラの稲盛和夫名誉会長が主宰する「盛和塾」の本年度稲盛経営者賞を受賞しました。経営者が経営を学ぶ盛和塾は、全国各地で70塾、8千名を超える会員数を持ちますが、その中の非製造業第2グループ(売上高10億円以上50億円未満)の1位に選ばれました。不況が続く建設業で、堅実な経営力などが評価されたものです。

同社は、鉄筋コンクリート造の賃貸マンション(ユーミーマンション) 事業を中心に事業展開を行っており、FC加盟全国約60社の中で、11年連続施工実績No.1を誇っています。今回の受賞に際し、神崎社長は、「無理な業容拡大に走ることなく、経営の根幹に利他の心を据え、しっかりと市場動向を見極めたことが好業績につながっている」と話されていました。今後の更なる躍進が期待されます。



## [SO27001] 改訂情報

各ISOマネジメントシステム規格は、共通化に向けて改正が進んでいます。ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)については、今年8月にFDIS(Final Draft International Standard)が発行され、今年中には改訂版が発行される予定となっています。 FDIS化されたISO27001は 今後QMSやFMSでも採用されるHIS

FDIS化されたISO27001は、今後QMSやEMSでも採用されるHLS (High Level Structure)の規格構造を採用し、また、ISO31000 (リスクマネジメント規格)の概念を取り入れたり、附属書A部分の見直しがされていたりします。このように2005年版からは少なから

ず変更がありますので、MICでは、9月より改訂版の発行に先んじて、FDISの概要や改訂のポイントについての説明会を東京・大阪・名古屋をはじめ11都市にて開催しております。すでに終了している開催地もありますが、ご興味がございましたら弊社営業部までお問合せください。なお、本稿執筆時点(8月末)では、改訂版への移行については確定しておりませんが、改訂版発行から1年間は現行規格での審査を受けることが出来る見込みです。









次回維持審査を半年後に控えていますが、その時期に海外の展示会に出展予定です。全社的にも慌ただしく、さらに ISO管理責任者がその担当となっており審査対応も難しい状況です。審査日の繰り上げや延期は可能でしょうか? あるいは今回受審せず来年まで持越すことはできますか?

#### Answer

審査日は、基準日を起点に、前後所定の期間内であれば変更可能です。但し、審査の種類によって変更可能な期間は異なります。 ①維持審査の場合:

審査基準日の前3ヶ月から後ろ1ヵ月の範囲内で移動可能。 ※但し、初回審査後の最初の維持審査については、二次審査 終了日から1年以内に審査を終了しなければなりません。

#### ②更新審査の場合

有効期限日の前3ヶ月以内で移動可能。

※再認証審査は有効期限内にMICで審査報告書が承認されなければなりません。もし、審査で不適合が検出された場合は、不適合の是正が承認された上で、審査報告書が承認される必要があるので、認証登録証明書に記載された有効期限の、1ヶ月ないし1ヶ月半前の受審をおすすめしています。後ろにずらすことはできませんのでご注意ください。

いずれの場合も審査日程変更のご希望がありましたら、お早めに東京本社認証部までご連絡頂けますようお願い致します。 審査日間近でのご変更はご希望に沿えない場合がございます。 基準日については、MICでの認証状況により設定条件が異なりますので、日程変更をご希望の場合はお問合せください。(当基準は見直しされることがございます)

尚、審査の一時休止や中断は特例を除き制度上認められておりません。規定期間内に受審されない場合、認証は失効し、新規扱いで再取得頂くことになりますのでご留意ください。

また今後の取り組みの一つとして、複数担当者制の導入を検討されてみてはいかがでしょうか。担当者の負担軽減に加え、新たな着眼点からシステム改善につながるかもしれません。審査日程変更に関する疑問や不明点などがありましたら、東京本社認証部までお気軽にご相談ください。

## 中国興業株式会社 様

(ISO9001:2008、ISO14001:2004 認証登録)

MIC審査員 美濃 英雄 Hideo Mino



中国興業株式会社様は、岡山県笠岡市に本社を構える 建設会社です。昭和44年に創業され、来年45周年を迎え られます。

2001年に近隣他社に先駆けてISO9001を取得され、2012年に他審査機関からMICへ変更されました。ISO9001の認証取得後10年にあたる2011年には、MICでISO14001を新規認証されています。ISO14001の導入には、公共事業への入札条件へのメリットだけではなく社員教育と環境配慮へのきっかけにしたいとの思いがあったそうです。審査でもEMSを活用した経費削減など環境経営を強く意識されたトップの明確な方針が見受けられました。

今年5月末に実施した今回の審査は、前回2012年の審査時に東日本大震災の被災地で震災復興の業務に携わられていると伺っていたことから、震災復興工事の現場視察からスタートしました。被害の大きかった女川町などでは、震災復興事業として市街地の土地かさ上げ工事が始まっています。今回の施工現場は、女川町の土地かさ上げに伴う高台移転用地の造成工事でした。他に竣工後の石巻埠頭災害復旧工事現場も視察しました。

被災地域では、人材や材料不足により復興工事の入札 不調が続きましたが、労務単価の見直しなどもあり、災害



石巻港岸壁の災害復旧工事現場

復旧工事も徐々に進み始めています。同社では早い段階から復興事業へ携わっておられるとのことで、それも大手ゼネコンの協力会に加盟され日頃より高評価を得られていたからでしょう。

今回の現場視察では、現地での人材・材料不足を強く思い知らされましたが、同社をはじめ多くの人々の力で1日も早い被災地の復興を心より願います。

## 連載読み物

第12回 (環境細)

**客查員の** 

#### 「経営者インタビュー(2)/サイトツアー(現場視察)」

MIC 環境主任審查員 大村 敏夫 Toshio Omura

経営者インタビューでは、マネジメント レビューの内容についてもお聞きすることが

あります。マネジメントレビューの詳細な記録については、別途、管理責任者様からお話を伺うことがありますが、経営者インタビューでは、実施時期を確認し、どのようなことが組織の問題と認識され、その改善のためにどのような指示が出されているかを確認します。経営者インタビューは以上で終了します。

初回の一次審査以外では、管理責任者様などから、前回審査以降の変更点、例えば、設備の増設・廃止、人員の増減など、あるいは外部環境の変化などがあれば、お話を伺います。前回の審査結果のフォローとして、不適合や観察事項などがありましたら対応状況を確認します。カテゴリーIIの不適合(軽微)※1については、実施された是正処置の有効性の検証、カテゴリーIIIの不適合(軽微)※2については是正処置の内容から検証します。観察事項についても、どのように対応されたのかを確認します。このような確認は、それぞれの審査項目の確認の中で行うことも有ります。

ここまでは、机上での確認ですが、このあたりで、何方が 組織のキーマンであるか、分かってきます。

そして、環境マネジメントシステムの審査では重要なサイト視察による確認を行います。視察する内容は、組織の業種や規模、業務内容などにより異なります。事務所の中も視察しますが、環境面では、製造業では製造現場、建設業では施工現場などの視察が主になります。建物の中のみでは無く、建物回りの確認も重要となります。どのような組織にも共通しているのは、廃棄物管理の状況確認でしょう。その他、危険物などを保管していたら、管理状況の確認も

重要となります。排水処理施設や排ガス 処理施設がありましたら、その確認も必 須となります。サイトツアーの詳細につ いては、次回に続きます。



※1 カテゴリーⅡ:1ヵ月以内に是正処置の実施報告が必要。次の審査 で有効性を確認する。

※2 カテゴリーⅢ:1ヵ月以内に是正処置案の提出が必要。是正処置の 完了と有効性は次の審査で確認する。

## MICリレーエッセイ40

#### 審査員からのエッセイをお楽しみください。



From 神奈川県横浜市 川島久 (かわしま ひさし)



#### PROFILE

専門分野 ISO9001 - 情報処理

富士通株式会社 システム本部 東支社 複合 情報通信ビジネス本部、MIC審査員(現職)

#### 「私の出張生活」

思わずその光景に見とれてしまった のは、今から30数年前。私の初めて の出張時です。目的地である新幹線徳 山駅の直前に見た、石油コンビナート の光は午後10時の夜景として今でも 鮮やかに蘇ります。予約した旅館で出 迎えてくれたのは、何とネグリジェ姿 の女将さんでした。翌朝は、先ずお客

様の部長さんの席に近づき、「おはよ うございます。」と挨拶したところ、 「おはようございました。」と返され ました。"あれっ"と思いましたが、 次長さんも同様でしたので、気が付き ました。挨拶にも過去形があることを。 メントシステムこそ、組織の特性を重 最初の出張での驚きは余りにも感動 的であり、組織や地域属性に強い好奇

心を抱くようになりました。

審査員としても、私の出張生活は継 続しています。組織や地域の方々の考 え方や風習は、掛替えのない貴重なも のだと思っています。そして、マネジ んじるべきものと、肝に命じています。

## 連載「環境とISO14001」 40

#### 第40回「京都議定書の行方」

今年の猛暑はかつて経験したレベルを超えて いて、同時に発生している記録破りの豪雨は各 地に洪水と斜面の崩壊をもたらしています。そん な中で米国海洋大気局はハワイのマウナロア観 測所の二酸化炭素濃度がついに400ppmを記録 したことを伝えています。温暖化の影響は一刻も 猶予が出来ない状況なのに、二酸化炭素を削減 する国際協定はどうなっているのでしょうか、京 都議定書を例にその成り行きをまとめてみました。

#### 1. 京都議定書とは何か

1997年に京都で開催されたCOP3(第3回気 候変動枠組条約締約国会議)では先進国に 二酸化炭素などの温室効果ガスの削減を義務 付けた京都議定書が採択され、この中では第1 約束期間(2008年-2012年)に温室効果ガス の排出を先進国全体で90年比5%の削減を義 務付けました。これは、EU8%、米国7%、日本 6%のように割り当てられましたが、米国が「国 益に合わぬ」という理由で早々に離脱しており、 多量排出国である中国・インドは途上国として 元々義務を負っていないため、その効果は限 定的なものでしかありません。しかしながら、各 国が自国のエゴを捨てて次世代のために取り 組む第1歩の意味は大きいと思われます。

#### 2. コペンハーゲンの合意

潮目が変わったのは2009年コペンハーゲンで 開催されたCOP15であり、IPCC(気候変動に関 する政府間パネル)の科学知見を踏まえ、「"世界 の気温上昇が2℃を下回るべき"と認識し、 世界の排出量を大幅に削減する必要が あること、そのために、①先進国は2020 年に野心的目標を実行すること、②途上 国も削減行動を取り、その結果を測定し、 記録し、報告すべきであること」に合意し ました。合意とは法的強制力を持つ「協 定」には至らなかったことを意味します。

#### 3. カンクン合意およびその実践

2010年のメキシコのカンクンで開催された COP16ではコペンハーゲンの合意を受けて、これ に測定・記録・検証の方法などを加え、取り組み 促進のための作業部会の設立が合意されました。 カンクン合意と呼ばれていますがコペンハーゲン 合意を明確にして、若干発展させたものです。

これらは、2011年のCOP17(ダーバン会議)、 2012年のCOP18(ドーハ会議)を経て以下のよ うに決定されました。

- ①京都議定書は第2約束期間を2013年より5年 間または8年間に設定し、各国は削減目標を 提出すること。
- ②気候変動枠組条約の全ての締約国が参加す る枠組みを2020年にスタートする。その法的文 書の検討テキストを2015年までに作成すること。 上記②のために各国から自主的に決定して提 出された2020年目標は付表のとおりです。これ らは確定数値ではなく、今後、数値の検証と野 心的引き上げが検討される予定です。

MIC環境主任審査員 郷古 宣昭 Nobuaki Goko

#### 付表

#### 新枠組 2020年の削減目標

国	基 準	削減量 (%)	京都議定書[参考] 第1期 削減量(%)
E U	1990年	30	8
米 国	1990年	17	離脱
ロシア	1990年	15-25	0
日本	1990年	25	6
中国	2005年 GDP当り	40-45	対象外
インド	2005年 GDP当り	20-25	対象外

#### 4. 今後の成り行きと対応

これまで消極的だった米国は、国内の全ての 火力発電所に新たな二酸化炭素排出規制を導 入して原料転換を促進する一方、再生可能エネ ルギーを倍増する計画を進めており、国外では 中国、インドと提携して国際制度作りに積極的に 関与する動きを進めています。

日本は、京都議定書に米国や途上国が参加 しないのは不公平だとしてCOP17で離脱を表 明しており、第2約束期間にも参加しません。 2020年からの新たな枠組みについては鳩山元 首相が表明した「2020年に90年比25%削減」 が国際公約として生きていますが、安倍首相は 撤回・見直しを宣言しています。

日本は2020年まで何をするのか、京都メカニ ズムを使えないことで省エネ技術の海外展開が 滞らないのか、国際交渉の場から置き去りにな らないのか、懸念されます。

# が客さまからのお便り



## 私が管理 責任者ですか?

株式会社大興設備開発 (ISO9001:2008、ISO14001:2004、ISO27001:2005 認証登録) 管理部 総務課 世継 由海

当社は京都市内に昭和49年に設立、近所には妙心寺や、太秦映画村があります。まもなく創業40周年を迎え、 給排水・空調・消防・電気の各種設備工事ならびに総合 ビル管理のエキスパートとして、ハード・ソフト両面にわた る幅広い対応・豊富な実績と優秀な技術をもとに厚い信頼を得てまいりました。総合ビルメンテナンスと設備工事 に絶対の自信を持っています。

私が入社したのは5年前です。ハローワークの求人検索で、当社の「週3日3時間程度"ISOの分かる人"」という求人を見つけ応募しました。ISOを分かるどころか、「ISO??そういえば以前勤めていた会社の部長がこれをとらないといけないと言いながらISOと書かれた分厚い本を読んでいたような…」程度の認識でした。入社することが決まり、数日後に退職する前任者から管理責任者を引き継ぐことになりました。

当時当社はISO9001とKES(京都発祥の環境マネジメントシステム)の認証を取得していました。ISOについては何も分からない状態から取り掛かることになりましたが、既に

システムが構築されていましたので、今までの書類に目を 通すことである程度理解できました。そして数度の継続・ 更新審査を経て、一昨年にはお客様の情報に関わること も多い業種であることから、新たにISO27001の認証を取 得しました。そして昨年はKESからISO14001への切換え、 気付いてみたらISO9001、ISO14001、ISO27001と3種 類の管理責任者を兼務して審査の準備・対応をする形に なっておりました。契約社員の私が管理責任者の任務を 遂行できますのも、経営者と従業員の皆様の深いご理解 があればこそで、日々感謝しております。

今後も社員一同、3つのISO のマネジメントシステムに則り、 技術・能力・サービスの向上を 目指して努力を重ねて参ります ので、各方面からのご支援を 心からお願い申し上げます。



http://www.daiko-setubi.co.jp/

## 人に優しく、環境に優しく

株式会社ヤマト (ISO9001:2008、ISO14001:2004 認証登録) 代表取締役 藪内 博

緑の山々や雄大な渓谷に囲まれた自然豊かなまち 甲州市。雪解けの清流が里を潤す春には桃の花が一面 ピンク色に染める桃源郷。太陽の光を浴びて育つさくら んぼ、ぶどうや柿。信玄公ゆかりの史跡や温泉に訪れる 方々とのふれあいを大切にするまち。当社はそんなまち で、治山工事や道路工事を営む建設会社です。

2011年にISO9001、ISO14001を同時取得しました。 公共工事の入札・経営事項審査の評価加点への必要性 に加え、社内の組織作り、業務の標準化、技術の伝承、 人材育成など経営基盤強化にシステムを活用したいとの 考えからです。現在、社内での認識も高まり、社員一丸 となって継続的改善に向け積極的に取り組んでおります。 また当社では、地域の方々はもとより、旅人の安全や 自然を守り、より住みやすい環境作りに貢献したいと考 えています。ほんの些細なことですが、治山工事から発 生した伐採木を利用して、登山者に杖として使って頂い たり、山奥の工事では排気ガスを削減するために太陽 光発電機を使用して作業する等、環境保護に心掛けています。人に優しく、環境に優しい仕事をすることが、私たちの誇りです。是非甲州市においでください。



秋も深まり、明かりをつける時間も長くなってきました。日常生活であかりは欠かせないものですが、太古より人々の暮らしにはずっとあかりがありました。 人類のあかりの歴史は、石器時代の焚き火や松明から始まり、ろうそく、行灯、オイルランプ、ガス灯へと発展していきましたが、火に代わって電気の光が誕生したのは19世紀に入ってからで、それまであかりには必ず火を必要とする時代が長く続きました。それを大きく変えたのがアメリカの発明王トーマス・エジソンです。 1879年10月21日、エジソンが世界で初めて実用性の高い白熱電球を発明し、照明は様々な分野で飛躍的な進歩を遂げました。実際に白熱電球を発明したのはイギリスのスワンという人物ですがその寿命は短く、それを実用・商用化し、革新をもたらしたのがエジソンです。このエジソンの偉業をたたえ、1981年に照明関係4団体によって10月21日を「あかりの日」と制定されました。エジソンが発明した電球は竹の炭素フィラメントを利用したもので、丈夫で長持ちするフィラメントを作るために何千種類もの材料を世界中から取り寄せて試したそうです。そして京都の男山山頂にある石清水八幡宮の真竹と出会い完成させました。石清水八幡宮の境内には「エジソン記念碑」が建てられ、毎年2月11日の誕生日にはエジソン生誕祭が、10月18日の命日にはエジソン碑前祭が行われています。ふもとの商店街には「エジソン通り」もあり、縁の深さが伺えます。ちなみに、エジソンが1896年に設立した電気安全試験所(のちのETL: Electric Testing Lab.)は、私たちIntertekグループのC&E部門のルーツになります。あかりは、文化・経済・暮らしの発展に重要な役割を果たし、さらに快適性、生産性や能率の向上、交通安全や防犯などその役割は多様になっています。今は地球にやさしい環境、省エネへの配慮も求められる時代になり、エジソンの白熱電球も大手メーカーでの製造は中止され、あかりの在り方が問われています。あかりのありが

たみを認識する日として制定された「あかりの日」。秋の夜長、いつもの照明を少し変えてみたり、またキャンドルの炎や月あかりなど様々なあかりも楽しみながら、

あかりについて考えてみられてはいかがでしょうか。(参照:一般社団法人照明学会・「あかりの日」委員会・石清水八幡宮HP)

研修コースのご案内

### 内部監査員研修コース

マネジメントシステムの維持・改善のために必須の内部監査。その知識とスキルを身に付けます。これから導入を予定されている企業や、既に導入され更に効果的な運用を目指される組織の皆様方にもお薦めです。

○ 内部監査員コース 9001/14001/18001/27001 (2日間)

【開催地】 東京·大阪·富山·金沢·新潟·福井·他

【対象者】 ●品質/環境/労働安全衛生/情報セキュリティマネ ジメントシステムの導入を予定/検討している

- ●システムをより効果的に運用したい
- ●効果的な内部監査を行いたい

## 審査員研修コース

審査員への最初のステップです。合格すると、審査員補になる資格が得られます。内部監査リーダーの方にもお薦めです。

- ISO9001:IRCA認定審査員研修コース (5日間)
- ISO14001:IRCA認定 移行型審査員研修コース (3日間)

【開催地】東京

【対象者】●審査員の目で内部監査を行いたい

- ●内部監査グループのリーダーに任命された
- ●将来審査員を目指している

## → 受講生からのお便り →

ISO9001:2008 内部監査員研修コースを受講して

品質内部監査員コース(2013年5月大阪会場)受講 株式会社ホーム・アート 総務部 木村 由美子

弊社は大阪にございます電気工事業をさせていただいており、主に電気・エアコン・太陽光などの設備工事、設計、 施工や販売をさせて頂いております。

総務部でまだ入って1年ほどなのですがこの度、ISO9001:2008内部監査員に社内で任命されましたので、不安な気持ちを抱えながら研修に参加させていただきました。世界基準で作られた規格だけあって資料も決して簡単、というわけではありませんでしたが、2日間、講師の方に分かりやすく説明していただけました。

内部監査の適切な仕方、注意事項や失敗例・成功例などを聞いたり、グループに分かれて実際に内部監査の開始ミーティング、例の資料を見て内部監査、終了ミーティングもさせていただき身につきました。内部監査は監査員による不適合の犯人さがしではなく、社員全員でするものであり、またより良い仕組み改善であると講師から聞き、より効率のいい社内の仕組み作りにつながると感じましたので日々精進していこうと思います。

講師の方、スタッフの方ありがとうございました!

#### ムーディー・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社

http://www.moodygroup.co.jp/mic\_index.htm

◇東京事務所 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋Nビル4F TEL:(03)3669-7408 FAX:(03)3669-7410 E-mail: mi-certification@moodygroup.co.jp

◇大阪事務所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル13F TEL:(06)6150-0571 FAX:(06)6150-0575 E-mail:mic-osaka@moodygroup.co.jp